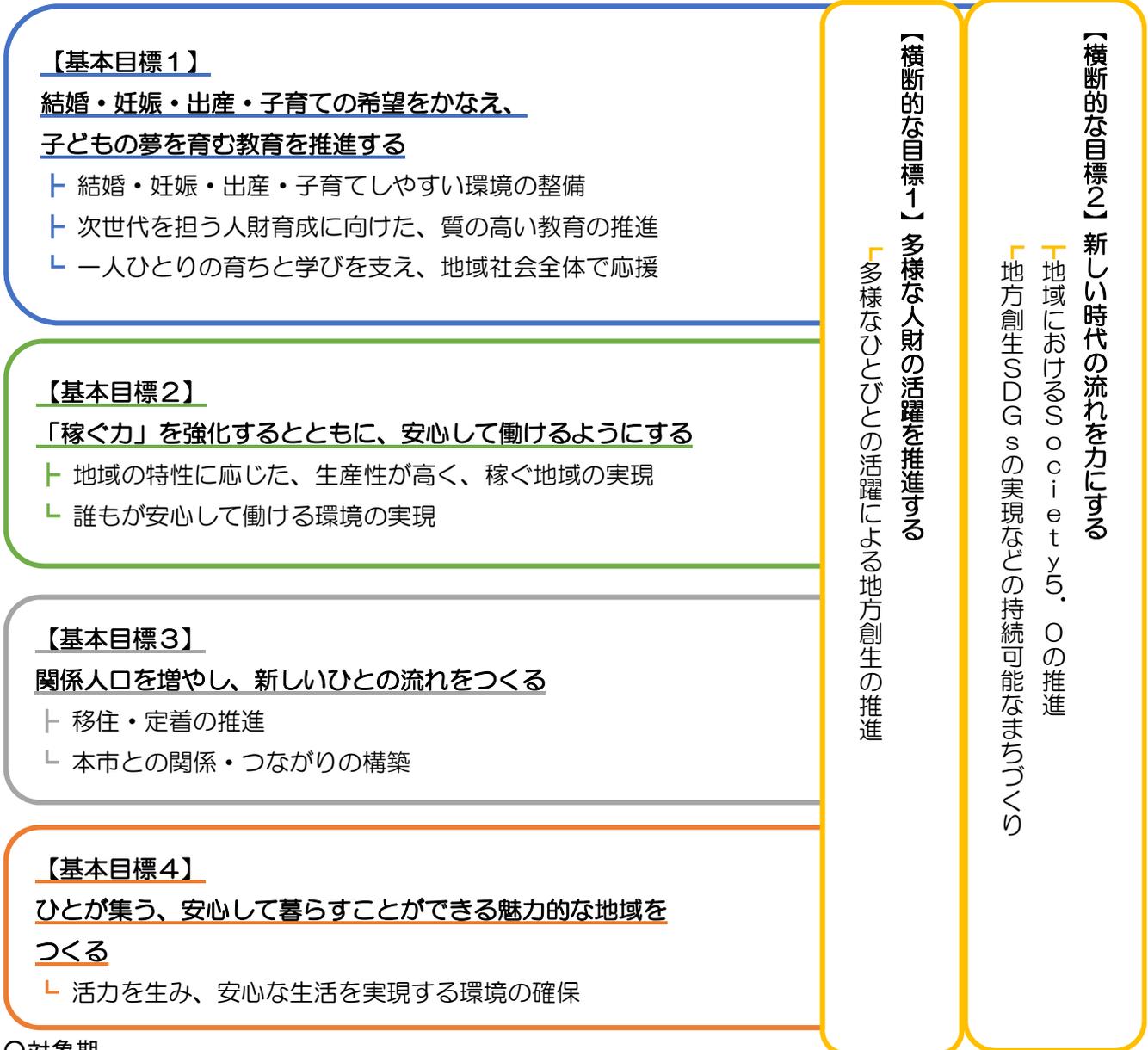


第2期 「宇部市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

令和3年度実績について

1 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略について

○施策体系



○対象期

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
総合計画	第四次総合計画基本構想（12年）								第五次総合計画			
	中期実行計画				後期実行計画				前期期実行計画			
まち・ひと・しごと創生総合戦略	第1期「総合戦略」						第2期「総合戦略」					

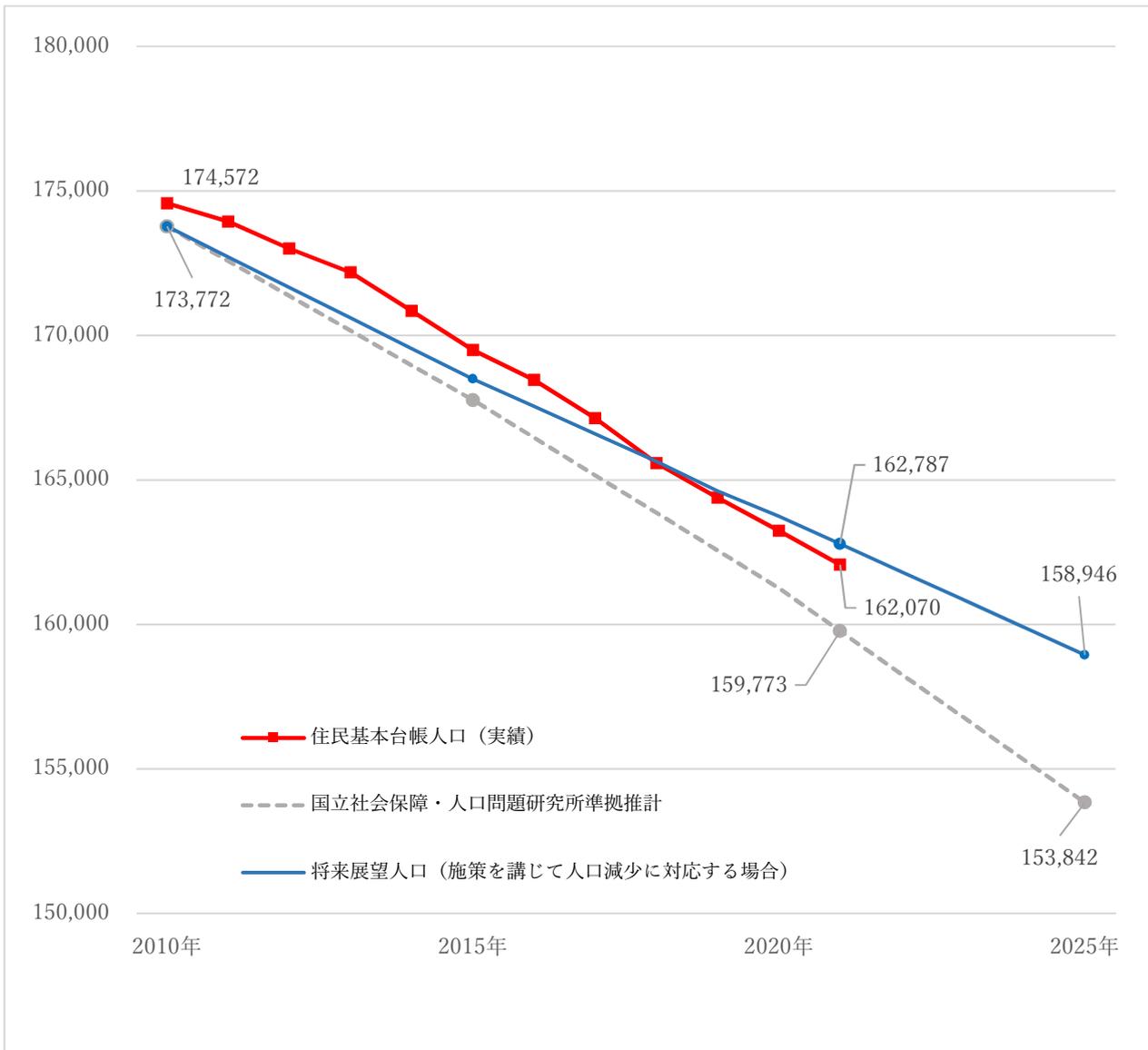
2 人口の現状と分析

2015年に策定した宇部市人口ビジョン（2015年～2060年）における2021年時点の人口推計（国立社会保障・人口問題研究所による推計）は、159,773人となっています。

また、同ビジョンでは戦略的な人口減少対策等を実施することにより、2021年の将来展望人口を162,787人と推計しています。

これらの推計値に対して、2021年10月1日時点の住民基本台帳人口は、162,070人となっており、国立社会保障・人口問題研究所の推計値よりも、約2,300人多くなっています。

また、将来展望人口と比較した場合、ほぼ同水準で推移しています。



3 基本目標の進捗

第1期総合戦略では、移住定住対策の効果により人口の社会減が改善されるなど、人の流れに一定の成果が表れている一方で、中心市街地の大型小売店舗の撤退など、にぎわいのあるコンパクトなまちづくりについては課題が残されたままとなっています。

第2期総合戦略では、結婚・妊娠・出産・子育てや、子どもの夢を育む教育の推進をはじめとして、産業振興や移住・定住の促進、安心安全で魅力的な地域づくりに取り組んでいます。

基本目標 1

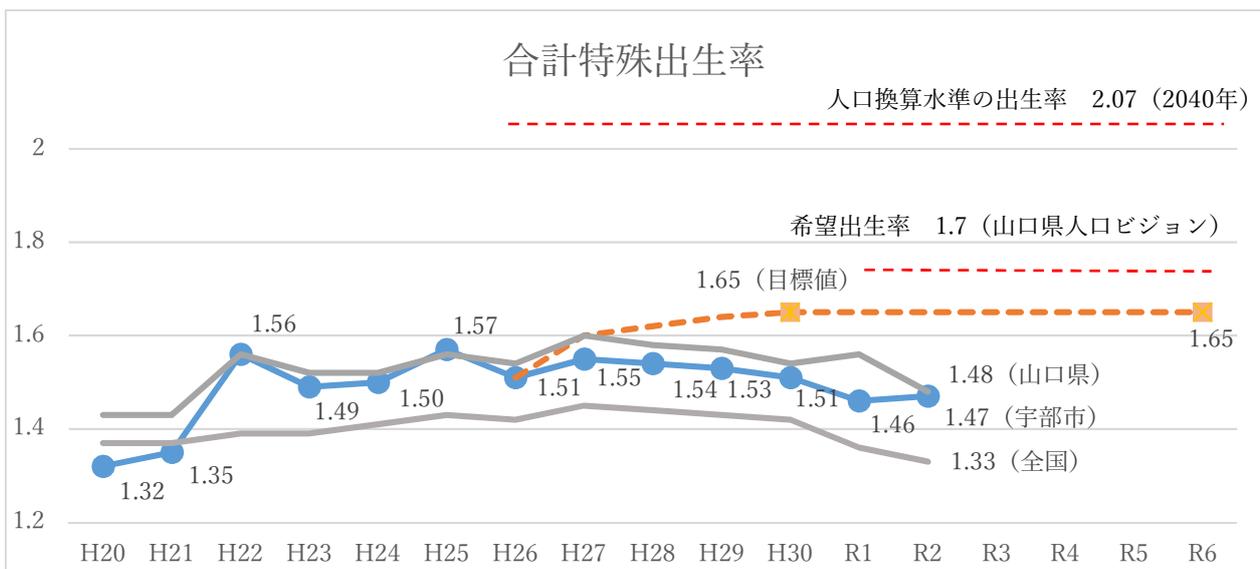
～結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえ、子どもの夢を育む教育を推進する～

重要目標達成指標（KGI）

指標	現状【H30年度】 (2018)	実績【R2年度】 (2020)	実績【R3年度】 (2021)	目標値【R6年度】 (2024)
合計特殊出生率	1.53 (2017年度)	1.46 (2019年度)	1.47 (2020年度)	1.65
将来の夢や目標を持っている小中学生の割合	小6 69.3% 中3 49.3%	国の調査 中止	小6 60.7% 中3 38.8%	小6 80.0% 以上 中3 55.5% 以上

合計特殊出生率については、第1期総合戦略で設定した目標値と同じ数値を据え置いています。平成26年度以降しばらく横ばいが続いたのちに下落しており、死亡者数よりも出生数が少ない人口の自然減の傾向が拡大しています。

若い世代の定住や出生数の増加につながる取組の強化が必要です。



基本目標 2

～「稼ぐ力」を強化するとともに、安心して働けるようにする～

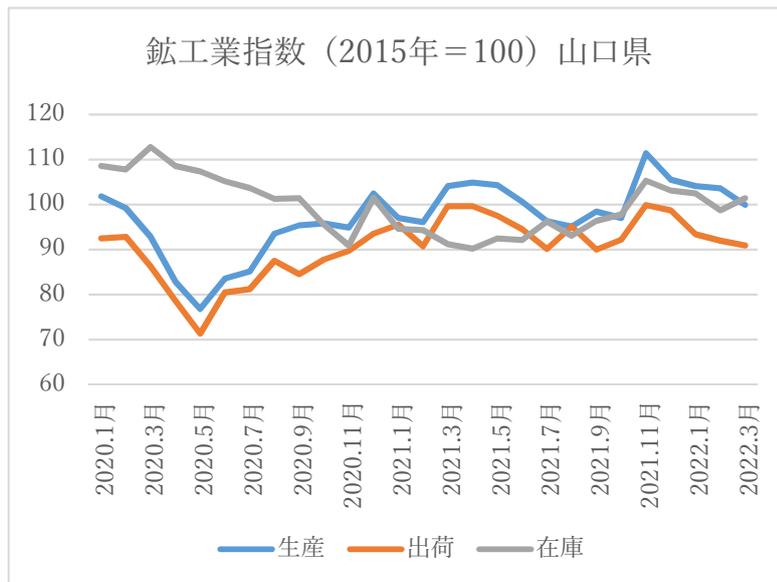
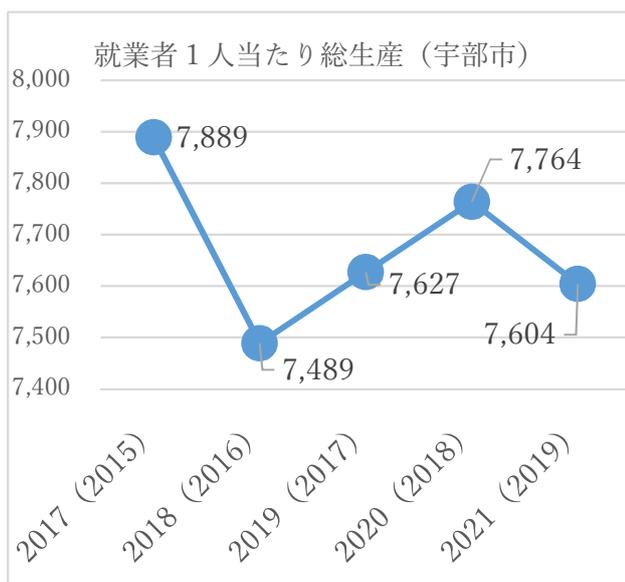
重要目標達成指標（KGI）

指標	現状【H30 年度】 (2018)	実績【R2 年度】 (2020)	実績【R3 年度】 (2021)	目標値【R6 年度】 (2024)
就業者 1 人当り 総生産(山口県市 町民経済計算)	7,817 千円 (2016 年度)	8,093 千円 (2018 年度)	7,604 千円 (2019 年度)	8,000 千円 (2022 年度)
高校生の市内就 職割合	49.3%	43.1% (県内 86.2%)	42.4%	55.0%
女性活躍推進企 業における女性 管理職の割合	21.0% (2017 年度末)	21.7%	21.7%	30.0%

景気の回復や企業誘致・雇用拡大等の推進により、「市内総生産」などにおいて、一定の成果が表れていましたが、増加傾向にあった第2次産業の総生産額が減少に転じたこともあり、2019年度は就業者1人当たり総生産額も前年比で減少しています。

景気との連動性が高いといわれる鉱工業生産指数によると、山口県全体の生産活動については、2020年2月以降に大きく落ち込んだ反動から2021年は回復基調にありましたが、原油高やウクライナ情勢の悪化などにより2021年11月以降、前月を下回る状況が続いています。

本市の就業者1人当たり総生産においても、2020年度から2021年度にかけての生産活動の回復期をピークに将来的には下落局面に移行するものと考えられます。



※参照：令和元年度市町民経済計算（令和4年3月_山口県）より

※国勢調査などの最新の各種基礎統計を取り込み、平成23年度以降の計数が遡及改定されています。

基本目標 3

～関係人口を増やし、新しい人の流れをつくる～

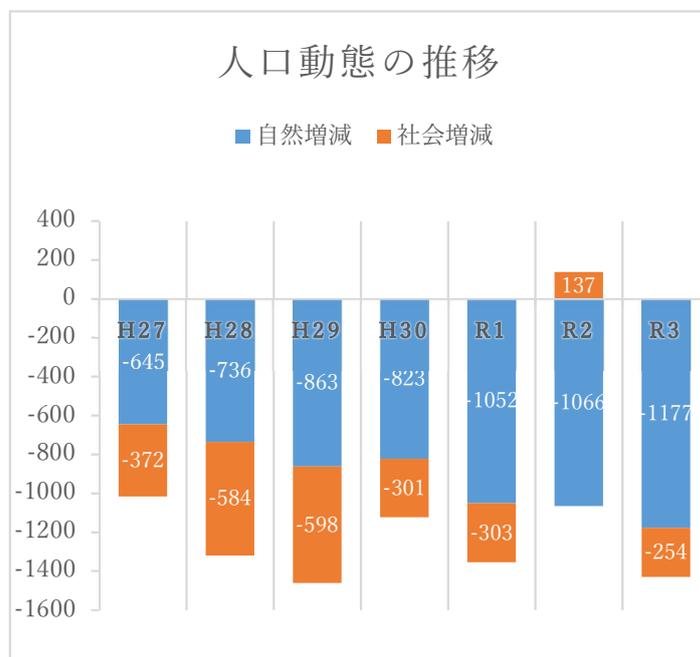
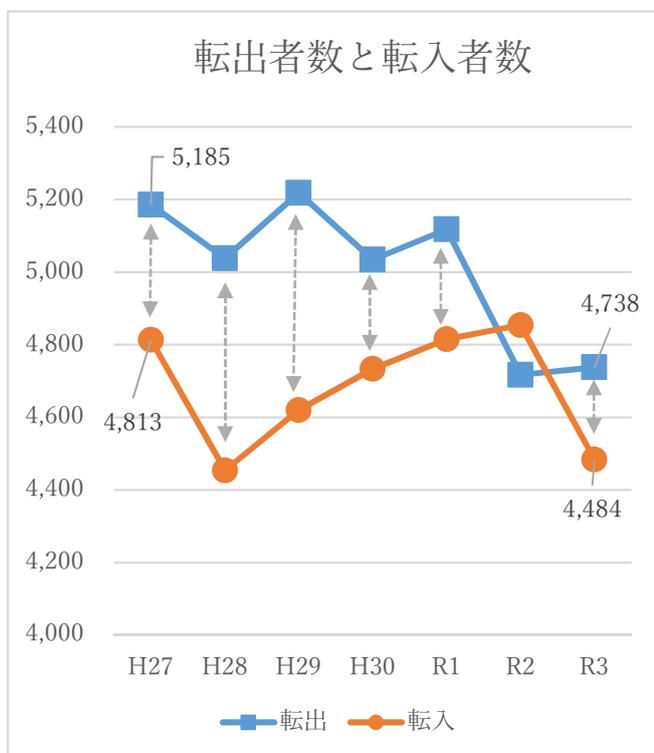
重要目標達成指標（KGI）

指標	現状【H30年度】 (2018)	実績【R2年度】 (2020)	実績【R3年度】 (2021)	目標値【R6年度】 (2024)
転出超過数	301人	△137人	254人	転出入者の均衡
関係人口創出数 (計画期間累計)	—	693人	2,058人	2,000人

第1期総合戦略から進めている移住定住対策の結果、令和2年度には転入者が転出者を上回りましたが、令和3年度には再び転出超過となっています。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、都市部を中心に生活や働き方を見直す動きが広がり、地方への移住の関心が高まったものの、転出先のほとんどは首都圏3県や北関東、長野県などアクセスが容易なエリアにとどまっており、首都圏におけるコロナ禍の人口移動が本市の転入者数へ与える影響は限定的と考えられます。

将来的な移住や二拠点生活・居住などにつながるよう、多様な形で継続的に関わる関係人口の創出や、ふるさと納税等を利用して本市に関心がある人を増やす取組が求められます。



基本目標 4

～ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる～

重要目標達成指標（KGI）

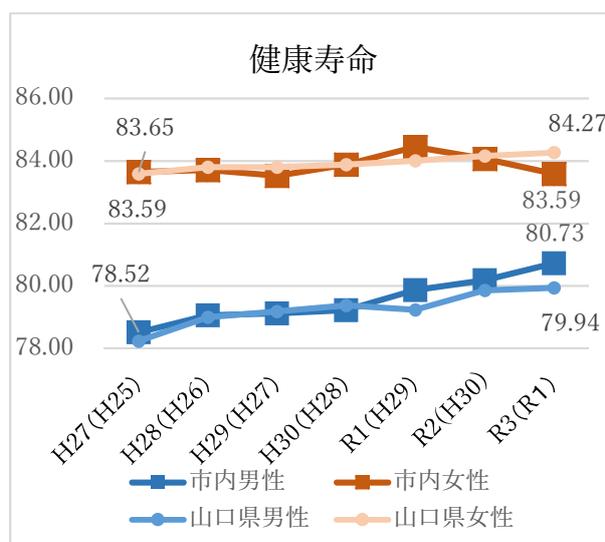
指標	現状【H30年度】 (2018)	実績【R2年度】 (2020)	実績【R3年度】 (2021)	目標値【R6年度】 (2024)
中心市街地の 休日1日当た りの通行者数	12,261人	7,773人	6,647人	16,100人
健康寿命	男性 79.87 歳 (2017) 女性 84.45 歳 (2017)	男性 80.19 歳 (2019) 女性 84.07 歳 (2019)	男性 80.73 歳 (2020) 女性 83.59 歳 (2020)	延伸

市街地の低密度化、公共交通利用者の減少、公共インフラの老朽化などにより、まちのにぎわいやサービスの低下が懸念される中で、魅力的なまちづくりへの一歩として、本市の顔となる中心市街地の活性化を図る必要があります。

第2期総合戦略では「宇部市中心市街地活性化基本計画」を踏まえながら事業展開を図っていますが、令和3年6月の常盤1丁目スマイルマーケット（トキスマ）の閉店や、長引く新型コロナウイルス感染症の影響から、中心市街地の休日1日当たりの通行者数は伸び悩んでいます。

一方で、国土交通省のアンケート調査によると、人々の求める都市施策として、「ゆとりある屋外空間の充実」や「自転車や徒歩で回遊できる空間の充実」へのニーズが高いことが確認されており、本市においても、中心市街地のにぎわい創出のため、市役所本庁舎建替えや旧山口井筒屋宇部店跡地の利活用計画に合わせた「居心地がよく歩きたくなる」まちなかの形成を目指す取組が進んでいます。

健康づくりの面では、男性の健康寿命の延伸傾向が続く一方で、女性については、悪性新生物、心疾患の増加により死亡確率が短縮しているため、健康寿命に影響を与えています。



参考 地方創生推進交付金事業の実施状況について

令和3年度実績 総事業費 504,583,369 円、 交付金 207,477,524 円

	交付対象事業	令和3年度の取組	総事業費
1	「暮らし満足度ナンバー1」のまちを目指して ～関係人口創出による移住・定住の促進～ 《令和3年度～令和6年度》	・移住定住ポータルサイトの運営 ・関係人口情報の集約・事業マッチング ・うべ暮らし体験ツアー、移住定住プロモーション事業	4,091,147 円
2	産業革命による宇部 SDGs 未来都市の推進 《令和元年度～令和3年度》	・SDGs 人材育成事業（宇部 SDGs 推進センター運営他） ・竹ラボ運営、竹資源バイオマス事業化支援 ・デジタルシティの推進 ・スマートシティの実現（文化財のデジタルコンテンツ化）	100,549,299 円
3	うべの“元気”を全国へ ～宇部ブランドの拡充と販路拡大～ 《令和元年度～令和3年度》	・農工商連携ブランド推進事業（うべ元気ブランド認証、PR イベント実施） ・6次産業化推進事業（加工品開発や販路悪大の支援、水産物直売施設支援） ・山口茶ブランド化事業（お茶まつり開催他） ・中山間地域の特産品開発事業	7,414,417 円
4	市役所周辺地区の「輝き」再生 ～大型店舗閉店を「変革」のチャンスに変えて～ 《令和元年度～令和3年度》	・百貨店跡地の活用（TOKiSMA の運営） ・空き店舗改修の支援 ・歩ける空間環境づくり ・にぎわい創出イベントの開催 ・デジタルコンテンツによる夜の回遊性向上事業	68,157,203 円
5	ICT & SIB の活用により健康長寿化と扶助費の増加 抑制を可能とする飛び地連携型大規模ヘルスケア事業 《令和元年度～令和5年度》	・ICT ヘルスケアサービスの事業規模の拡大（中間支援業務委託） ・参加者の継続支援に向けたコミュニティ形成 ・地域団体、民間団体との連携（ポイント活用の工夫、市内飲食店との連携）	54,506,734 円
6	山口県央連携都市圏域「山口ゆめ回廊」で育む 観光圏域づくり 《令和元年度～令和3年度》	・山口ゆめ回廊博覧会を通じた広域連携体制づくり事業 ・広域プロモーション事業（山口宇部空港路国内線ロビーにおける PR 動画放映他） ・フィルムコミッション、体験型観光 ・まちじゅうアートフェスタ開催、シビックプライド醸成	233,138,809 円
7	レジリエントで持続可能な社会を創る 「スマートシティ宇部プロジェクト」 《令和2年度～令和6年度》	・車海老養殖技術のスマート化とブランド力向上（AI・センサーシステム運用保守） ・5G 等最先端技術を活用した非接触・非対面型のデジタルコンテンツを作成・展示 ・中心市街地での AI オンデマンド公共交通の実装（グリーンスローモビリティの運行）	23,464,316 円
8	多様な「人財」で地域づくり ～関係人口を地域力につなげる～ 《令和3年度～令和6年度》	・地域づくり担い手の育成 ・地域運営組織の支援（中間支援プラットフォームの運営） ・地域活動人財登録認証制度（アートコミュニケーター、女性リーダー）	13,261,444 円